

🌿 WOOD DECK RENOVATION 🌿

【建設工学3年4組 岩崎花恋 白井咲葵 仁井萌理 野崎怜奈 白川雛】

1 はじめに

先輩方が製作したウッドデッキの塗装が剥がれてきていたので、私たちにできることは何かないか考えた結果ウッドデッキのリノベーションをすることにしました。

2 計画

最初はウッドデッキを解体し、形から変えようと思いました。ですが、一から作り直すには時間が足りないことや、先輩方が作り上げてきた作品を壊すのは勿体ないという意見から、塗装だけをすることにしました。

ウッドデッキを見て、木と木の間の隙間が小さかったのでテーマを決めて模様を描こうとしましたが、段差や面が多かったので、全体を塗る案が採用されました。

3 製作

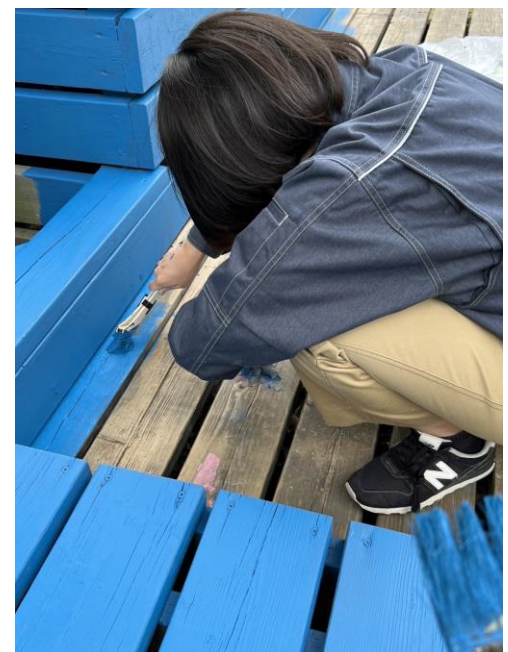
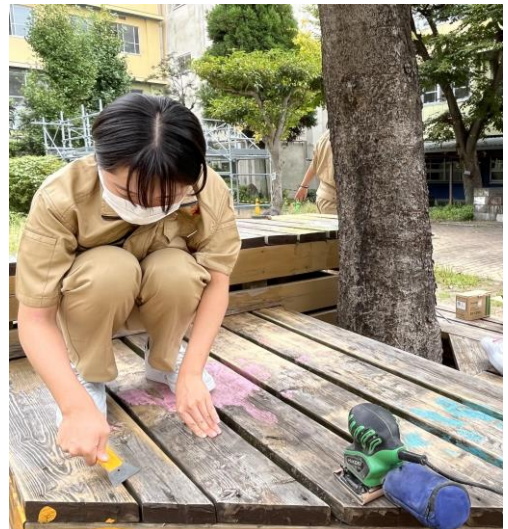
初めにウッドデッキの面をきれいにする為に、電動サンダーを使って削りました。

サンダーだけではペンキは落ちなかったので、ヘラも使いながら塗装をはがしていきました。

削り後は水圧洗浄機で水洗いし、塗装前最後の仕上げに入りました。

次に塗装に入りました。最初はローラで全体を塗り、隙間などの細かいところは最後に塗りました。木と木の間の隙間が狭いので普通のハケでは奥まで届かず、隙間の幅によって使うハケを変えながら塗りました。

デザインは、2色のペンキを単色で使ったり、混ぜて使ったりしました。どの面をどの色にするかは



その場で考えたので一度全体をいちばん濃い色塗り、その後上から全体を見て薄くするところなどを決めました。

5 まとめ

木が劣化していて削れているところや、釘を打ったところがへこんでいて見た目や安全面で気になったので、そういった部分にもこだわると良かったと思いました。

また、どの色をどの面に塗るかをその場で決めたので、時間を有効に使えず作業がグダグダになってしまったことが残念でした。

ですが、その場で考えた時も事前に考えた時も、それぞれが意見を持っていてそれを全体で交流できたのはいいことだと思います。また、塗装の時に木と木の間や側面などの細かいところまで丁寧にムラなく塗ることができたので良かったです。



【完成写真】